

## 【オフサイドの反則について】

副審において特に重要となる「オフサイド」についての説明です。2013年の一部ルール改正も含めしっかりと理解し試合に挑みましょう。

～具体的に何をするとオフサイドになるか～

### ① 攻撃側がオフサイドポジションにいる味方にパスを出す（プレーに干渉する）

ボールを出した瞬間に、受けようとする味方がオフサイドポジションにいると反則になる。

### ② 相手選手の視界やプレーを邪魔する（相手競技者に干渉する）

オフサイドポジションにいる味方に向かって蹴っていないくても、その選手がゴールキーパーと競りにいくと、「相手の視界やプレーを邪魔した」と取られ、反則になる。その選手が相手ディフェンダーの進路を妨害しても、同様の反則になる。

### ③ オフサイドポジションにいることによって利益を得る

味方が蹴ったボールがゴールポストに当たり跳ね返る、あるいは相手選手に当たって跳ね返り方向が変わったボールに対し、既にオフサイドポジションにいる選手が反応すると「オフサイドポジションにいることによって利益を得た」と取られ、反則になる。

つまり味方が自分以外の選手やゴール目がけて蹴った瞬間に、自分がオフサイドポジションにいたら、相手選手やポストに跳ね返って自分の前にこぼれてきてもプレーできない

※ただし、以下のシチュエーションの場合は「オフサイドポジションにいることによって利益を得る」と判断されない

味方が自分でない選手やゴール目がけて蹴った瞬間に自分がオフサイドポジションにいても、相手選手がクリアや蹴り出しなど意図的にプレーした場合（ゴールキーパーのセーブは除く）は、それによって跳ね返りこぼれてきたボールを受けてプレーしても「利益を得た」と判断しない。

つまり相手選手がクリアミスをしてしまうと、蹴った瞬間にオフサイドポジションにいた選手に渡っても反則にならず、そのままプレーを続けることができる。

～オフサイドの反則ではない～

- ・ ゴールキック、スローイン、コーナーキック